



ABEST21 e-News

No.93, August 2017

ABEST21

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,
a 21st century organization

URL: <http://www.abest21.org> TEL. 03-3498-6220 E-Mail: ABEST21@abest21.org
Editor: Fumio Itoh

ABEST21 Office Report

2017年6月

- ・05日：マレーシア・Kuala Lumpur で ABEST21 Accreditation Seminar Kuala Lumpur を開催
- ・05日：インドネシアの FEB-Universitas Udayana の来訪
- ・07日：インドネシア・Jakarta で ABEST21 Accreditation Seminar Jakarta を開催
- ・07日：インドネシア・Jakarta の在インドネシア日本国大使館を訪問
- ・23日：ABEST21 Rector Forum 開催の件で文部科学省を訪問

2017年7月

- ・12日：SBI 新研究科長の来訪
- ・15日：タイ・Chonburi の Burapha University で ABEST21 Accreditation Seminar Bangkok を開催
- ・18日：インドネシア・Surabaya の Universitas Airlangga で開催された APMMI の第1回 ISCRBM に出席

2017年8月

- ・05日：マレーシア・Penang の GBS-Unniversiti Sains Malaysia で Peer Review Visit を実施
- ・06日：マレーシア・Sintok の GBS-Unniversiti Utara Malaysia で Peer Review Visit を実施
- ・07日：マレーシア・Putrajaya の Ministry of Higher Education を訪問
- ・08日：マレーシア・Shah Alam の AAGBS-Unniversiti Teknologi MARA で Peer Review Visit を実施
- ・09日：マレーシア・Kuala Lumpur の GSM-Management and Science University で Peer Review Visit を実施
- ・10日：マレーシア・Serdang の PBS-Unniversiti Putra Malaysia で Peer Review Visit を実施
- ・11日：マレーシア・Bangi の GBS-Unniversiti Kebangsaan Malaysia で Peer Review Visit を実施
- ・14日：マレーシア・Kuala Lumpur の IIUM CRESENT-International Islamic University Malaysia で Peer Review Visit を実施

I. Quality Improvement and Peer Review System -31

認証評価の更新 (re-Accreditation) について

学校教育法百九条第二項において、「認証評価」は「・・・文部科学大臣の認証を受けた者（以

下「認証評価機関」という。)による評価(以下「認証評価」という。)・・・」と定義され、第三者評価機関によって「教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況」等についての評価を受けることと義務付けられている。そして「認証評価の期間」を学校教育法第九十九条第三項において「政令で定める期間」とし、その期間を専門職大学院の場合は、学校教育法施行令第四十条において、「・・・法第九十九条第三項の政令で定める期間は五年以内とする。」と規定されている。従って、認証評価は一度評価を受ければそれでよいというわけにはいかず、旅券や交通免許証等と同じ様に一定期間毎に認証評価の更新をして「質の保証」を得なければならない仕組みである。

認証評価による教育研究の質保証期間が5年間であるということは、現代のグローバル化が加速度的に進展していく教育研究環境において「質保証」の更新を怠ると、当該教育機関がステークホルダーに対して提供していく教育サービスの質が陳腐化し、賞味期限の過ぎた教育サービスを提供していく恐れがあるということである。また、法律で規定されているからその要件を満たせばそれでよいという形式的な考えでは、そこには「将来性」はなく、単なる法律で定められた通過地点を無事通り過ぎることができたということだけである。「真空の社会」ならば存在しえるかもしれないが、「環境の変化」はそれを許さないであろう。

受審校は、初審評価において教育研究環境の変化の下にあって「教育研究上の目的」を実現していくためにカイゼン課題を分析し、課題解決の実行計画を策定し、そして中・長期的な行動計画の先に長期スパンで自らの「ありたい姿」を描いてきた。さらに、現状の教育研究環境の「機会(Opportunities)」と「脅威(Threats)」の外部環境要因の分析により、また教育研究資源の「強み(strengths)」と「弱み(weaknesses)」の内部環境要因の分析により、激変していく教育研究環境において「ありたい姿」のベクトル線上に「あるべき姿」を投影し、それを目指してカイゼン課題の実行計画が履行してきた。

従って、認証評価の更新は認証校がこの「あるべき姿」にどれだけ接近してきたか、またなぜその接近ができなかったのかの原因を究明していく機会と捉えていかなければならない。教育研究の質維持向上は持続されていくもので、中断されればステークホルダーに対する背信行為ともなりかねない。教育研究の質保証の受益者はステークホルダーであることを忘れてはならない。従って、5年経過したからその処置として法的要件を満たせばよいという考えでは、もはやそこには未来はない。カイゼン課題の早期発見ができなければ、学生募集の停止を待つだけである。

ABEST21 International は、Peer Review Visit を通じて“認証評価の更新が目指す目的は何か”を模索してきた。認証評価の更新は、ただの初審評価の繰り返しではなく、初審評価で分析したカイゼン課題がその後の3年間で履行されてきた状況報告である Kaizen Report の審査結果を前提に当該校の「教育研究活動の質維持向上」の持続的発展が図られてきているかを、これまでに蓄積してきた知見と経験知に基づいて審査していくものである。それ故、最近3年間の Kaizen Report の審査結果と認証評価の更新評価のために提出されてくる“Self-Check/Self-Evaluation Report (SCR)”とは「教育研究の質維持向上」を目指した一体化したもので、より高い次元で問題を捉えていくものである。

それ故、ABEST21 International では、評価システムの構築の一環として認証校カルテを作成している。その主な内容は、「認証評価の履歴」、「認証校の教育研究上の特徴」、「認証校が行った SWOT 分析」、「QIP, SCR, Kaizen Report の各審査結果」等を含むデータの保存であり、認証評価の更新審査に資する医師の患者カルテのようなものである。このカルテは公表すべきものではなく、あくまでも受審校の「教育研究活動の維持向上」に資するもので、初審評価の審査結果とカイゼン課題履行状況の審査結果との延長線上において再評価を行う時の貴重なデータなのである。認証評価の審査委員は会計監査をするような Auditors ではなく、問題点を見つけ、「教育研究の質

維持向上」を診断する Medical Doctors であるかもしれない。(理事長 伊藤文雄)

II. General Information

Prof. Dr. Noor Azizi bin Ismail (Deputy Director General of Higher Education) を訪問

2017年8月7日、マレーシアの高等教育省 (Ministry of Higher Education) を、Dr. Siti Zaleha Sahak (UiTM) と Dr. Jaafar Pyemen (UiTM) の両先生と Deputy Director General of Higher Education の Prof. Dr. Noor Azizi bin Ismail (写真: 左から2人目) を訪問いたしました。ABEST21 が2017年11月に産官学連携で ABEST21 ASEAN Recor Forum の開催を予定していることについてのマレーシア政府の協力要請と Jusoh 大臣の講演依頼をそれぞれいたしました。



III. Accreditation

1. 2017年度のPeer Review Visitについて

ABEST21 International は、会員校の協力を得て下表のとおり 36 件の Peer Review Visit を実施することになりました。まだまだ改善の余地がありますが、実地審査を通じて得た知見と経験知に基づき 2018 年度実施に向けた Peer Review Visit の改善を更に進めていきたいと考えています。

Total Number of Peer Review Visit 2017

	CN	ID	JP	MY	TH	RU	Total
SCR	-	8	1	-	-	-	9
KR	1	8	8	7	2	1	27
Total	1	16	9	7	2	1	36

SCR=Self-Check/Self-Evaluation Report, KR=KAIZEN Report

2. ABEST21 Accreditation Seminar Bangkok の開催について

2017年7月15日(土)、タイ・バンコック近郊に設置されている Burapha University で、ABEST21 Accreditation Seminar が開催されました。伊藤理事長より ABEST21 の Accreditation System について説明が行われ、引き続きの Dean Sujinda Chemsripong (Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University, Phitsanulok) より、ABEST21 の認証評価の受審を通じて得た教育の質維持向上について詳細な説明と質疑応答がなされました。



3. タイにおける Kaizen Report の実地審査 (Peer Review Visit) について

2017年8月1日に Phitsanulok の Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University より提出された「実行計画履行状況報告書 (Kaizen Report)」についての実地調査 (Peer

Review Visit)がDean Sujinda Chemsripongの協力を得て、Peer Review Team (PRT)のリーダーであるDr. Hen Kai Wah (Universiti Tunku Abdul Rahman, Malaysia)のチームより実施されました。さらに、8月3日には、チェンマイ市に設置されているChiang Mai UniversityのFaculty of Business AdministrationのKaizen Reportの検証についても、Peer Review Team (PRT)のリーダーであるDr. Hen Kai Wah (Universiti Tunku Abdul Rahman, Malaysia)のチームよりDean Siriwut Bunarapinの協力を得て教育の質維持向上についての確認がなされました。

4. マレーシアにおけるKaizen Reportの現地審査(Peer Review Visit)について

2017年8月5日より14日までの約10日間で、マレーシアの7大学に対するKaizen Reportsに対するPeer Review Visitを実施いたしました。まず、5日のUSM(Penang)を皮切りに6日にUUM(Sintok), 8日にUiTM(Shah Alam), 9日にMSU(KL), 10日にPBS(Serdang), 11日にUKM(Bangi), そして14日にIIUM(KL)の各大学ビジネススクールの実地審査(Peer Review Visit)をいたしました。各ビジネススクールの教育の質維持向上の著しい発展がみられ、Self-Check/Self-Evaluation Report (SCR)で分析されたカイゼン課題を解決していく実行計画が計画通りに履行されていることが確認でき、学生インタビューでもその変化が認識されていることを確認し、有意義なインタビューが行われました。

USM (August 5, 2017)



UUM (August 6, 2017)



UiTM (August 8, 2017)



MSU (August 9, 2017)



PBS (August 10, 2017)



UKM (August 11, 2017)



IIUM (August 14, 2017)



IV. Global Knowledge Network

=====

1. The 1st ABEST21 ASEAN Rector Forum についてー 2

ABEST21 International は、2017 年 11 月 26 日と 27 日、インドネシア・バリ島の Denpasar に設置されている会員校の Universitas Udayana (UNUD) の協力を得て、Hilton Bali Resort と UNUD で産官学でアジア諸国の Student Mobility を推進していく学長会議を開催することにいたしました。この学長会議の主催は ABEST21 International ですが、後援組織に文部科学省とトヨタ自動車株式会社の参加が決まりましたので、産官学による学長会議開催の体制が整いました。

学長会議での主な講演者は下記の通りです。

Guest Speakers:

- ・ Minister Dr. Mohamad Nasir
The Ministry of Research, Technology and Higher Education of Republic of Indonesia
- ・ Ambassador of Embassy of Japan in Indonesia (under negotiation)
- ・ Mr. Bob Azam
Director of HR. EGA. CP External Affairs, Public Relations
PT. Toyota Motor Manufacturing Indonesia (TMMIN)

Keynote Speakers:

- ・ Prof. Dr. Ilker Baybars
George Leland Bach Chair, Professor of Operations Management
Dean and CEO Emeritus, Carnegie Mellon University-Qatar
Deputy Dean Emeritus, Carnegie Mellon University, Pittsburgh, USA
- ・ Prof. Dr. Kayo Inaba
Executive Vice President, Kyoto University, Kyoto, Japan
- ・ Prof. Dr. Ir. Kadarsah Suryadi
Rector, Institut Teknologi Bandung, Bandung, Indonesia
- ・ Prof. Dr. Dato' Daing Mohd Nasir Bin Daing Ibrahim
Vice Chancellor, Universiti Malaysia Pahang, Kuantan, Malaysia
Malaysia and Chairman, Committee of Vice-Chancellors and Rectors of Malaysian Public Universities

2. ABEST21 Dean Forum の開催について

ABEST21 International は、学長会議の開催に先立って 2017 年 11 月 25 日に、Denpasar に設置されている Universitas Pendidikan Nasional (UNDIKNAS) の協力を得て、UNDIKNAS で学長会議の議題の調整等を踏まえて研究科長・学部長会議を開催することにいたしました。詳細については学長会議組織委員会で検討中ですので、決まり次第ご報告いたします。

3. Peer Review Committee の開催について

ABEST21 Dean Forum の開催に伴い、前日の 2017 年 11 月 24 日に 2017 年度 Peer Review Committee を、Denpasar の Universitas Pendidikan Nasional (UNDIKNAS) で開催することにいたしました。

4. The 1st International Seminar of Contemporary Research in Business and Management (ISCRBM)について

ABEST21 International が支援した APMMI (ALIANSI PROGRAM MAGISTER MANAJEMEN INDONESIA) の The 1st International Seminar of Contemporary Research in Business and Management (ISCRBM) がスラバヤの Universitas Airlangga (UNAIR) で開催され、伊藤理事長が産学連携のあり方について講演をいたしました。



V. Membership Information

=====

1. Prof. Dr. Noor Azizi Ismail (Deputy Vice Chancellor of Universiti Utara Malaysia) の Deputy Director General for Higher Education, the Ministry of Higher Education の就任について

Prof. Dr. Noor Azizi Ismail は、ABEST21 の会員校である Othman Yeop Abdullah Graduate School of Business, Universiti Utara Malaysia, Malaysia の Dean を経て、Deputy Vice Chancellor として学長を補佐されてきました。特に、学部長の時の 2015 年に Othman Yeop Abdullah Graduate School of Business を ABEST21 の認証評価に導き、マレーシアを代表するビジネススクールに育ててきました。この度、2017 年 7 月 1 日よりマレーシアの高等教育省 (The Ministry of Higher Education) の Deputy Director General for Higher Education として就任されることになりました。Noor Azizi Ismail 教授の専門分野は会計・情報システムです。マレーシアの Universiti Kebangsaan Malaysia で学士 (会計) を取得後、米国メンフィス大学にて修士 (会計システム)、英国ラフバラー大学にて博士号 (会計・情報システムズ) を取得されました。教育研究活動での優れた業績により UUM Excellence Service Award を、2011 年と 2013 年に CMO Asia' s Best B-School より贈られる INNOVATION LEADERSHIP AWARD と EDUCATION LEADERSHIP AWARD を受賞されました。



2. New Dean の紹介について

1) Dean Professor Shigeru Asaba, Ph. D.

Graduate School of Business and Finance (Waseda Business School, WBS), Waseda University, Tokyo, Japan

He received Ph D. in Economics from the University of Tokyo in 1994, and Ph. D in Management from University of California, Los Angeles (UCLA) in 1999. Before he joined WBS in 2013, he had taught Business Economics and Strategy as Assistant Professor, Associate Professor, and Professor of Gakushuin University, Tokyo, Japan for more than 20 years. He has published several books on strategy and business economics in Japanese. He has also published articles on mechanisms of



imitation, foreign firms in Japan, and investment behavior of family firms in journals such as *Academy of Management Review*, *Advances in International Management*, and *Asia Pacific Journal of Management*. He was appointed as the Dean of WBS in September, 2016. WBS is one of the largest business schools in Japan with three English-based programs (International MBA, MSc in Finance, Waseda-Nanyang Double MBA) and five Japanese-based programs (Full-time MBAs, Part-time MBAs), which aim to meet various needs from the business world.. As the new Dean, he believes that WBS needs to improve the curricula, strengthen the faculty, and increase the reputation to cultivate global leaders in the next generation. Under his direction, WBS keeps moving forward with its mission, “Actionable Knowledge Unlocks Your Potential.”

2) Dean Associate Professor Dr. Nurkholis

Faculty of Economics and Business, Universitas Brawijaya, Malang, Indonesia

Dr. Nurkholis was born on July 6, 1966. He completed his Bachelor of Accounting in 1990 at Universitas Brawijaya. In 1997, he completed his master of Business at Monash University and received his Ph.D. from International Islamic University Malaysia. He actively attends many trainings, workshops and seminars, e.g. Trainings for Trainers Planning and Budgetting BAPPENAS/GRIPS TOKYO, Asean Integrated Accounting Profession for Sustainable Economic Growth Congress, and Workshop on ASEAN Accounting Education Accountant in ASEAN Economic Community 2015 Empowering Accounting Education Accross ASEAN. He worked as a part-time consultant and auditor in Accounting & Management



Consulting Firm for eight years as a Team leader. As a lecturer, his teaching interests are (1) Public Sector Accounting, covering issues of local government financial reporting and financial management, (2) Cost/Management Accounting; Management Control Systems, and (3) Strategic Management. In 2014, he was appointed as the Head of Accounting Department, Faculty of Economics and Business, Universitas Brawijaya (FEB UB) and on June 5, 2017 he was appointed as the Dean of Faculty of Economics and Business Universitas Brawijaya. As the new Dean of FEB UB, he believes that the success of FEB UB in the future cannot be separated from the effort to create an “entrepreneurial spirit” in an increasingly effective, efficient, professional and accountable bureaucracy. Therefore, he will continue to collaborate in creating creative innovations to support an increasingly conducive academic and research environment on campus.

3. Members’ Voice

Dr. Harryadin Mahardika, Director of Magister Manajemen Program

Faculty of Economics and Business, Universitas Indonesia, Jakarta, Indonesia

“Dear ABEST 21,

Faculty of Economics and Business Universitas Indonesia would like to send our utmost appreciation to ABEST21 for regular update on its members activities and news. We see the

Newsletter as an important tool to share the latest development of ABEST21, as well as promoting accredited members to global audiences.
Considering the importance of ABEST21's Newsletter, we really hope it can be distributed not only to the member, but also to the wider audience beyond that, including global universities, business school, media, industry, professional association, etc.
Thank you and best regards."